

平成 29 年 2 月 28 日

都市ガス事業者初・最高ランク取得 日本政策投資銀行「DBJ 健康経営格付」において

京葉ガスは、従業員の健康維持・増進を重視し、健康管理を経営課題とした取り組みを評価する株式会社日本政策投資銀行（DBJ）／本店：東京都千代田区、代表取締役社長：柳正憲）の格付け融資制度「DBJ 健康経営格付」において、最高ランクの評価を取得しました。



「DBJ 健康経営格付」融資制度は、DBJ が開発した独自の評価システムにより、従業員の健康配慮への取り組みに優れた企業を評価・選定し、その評価に応じて融資条件を設定するという「健康経営格付」の専門手法を導入した、世界初の融資制度です。

【写真】日本政策投資銀行 廣實常務（左）より認定証を授与される、当社社長・湯山（右）＝2 月 21 日 京葉ガス本社

今回の格付け審査では、主に以下の点で高い評価を受けました。

- (1) 社長をはじめ常勤役員と部長による「安全衛生推進会議」および、各職場の労使の代表者や産業医が参加する「中央安全衛生委員会」での定期的な健康経営に関する取り組みの議論に加え、各部署毎に安全衛生委員を配置することで、従業員個人に健康目標や施策を浸透させている点
- (2) 毎月の役員会における部署別の残業時間に関する議論に加え、法令水準よりも厳格な独自基準のもと、長時間労働者との面談実施を継続するなど、長時間勤務の抑制に向け実効性のある対策を講じている点
- (3) 独自の従業員満足度調査の継続的实施やメンタルヘルス・マネジメント検定資格取得を推奨するなど、メンタルヘルス対策や働きがい向上に関し、特徴あるポピュレーションアプローチに早くから取り組んでいる点

その結果、当社は「従業員の健康配慮への取り組みが特に優れている」という最高ランクの格付けを取得しました。なお、都市ガス事業者による最高ランクの格付け取得は当社が初めての事例となります。

当社は「企業にとって従業員の健康は重要な財産である」と考え、今後も積極的に健康維持・増進の施策に取り組んでまいります。

